

育成会活動はやはり地域から、身近なところから

一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子

いつも栃木県の育成会を応援いただきありがとうございます。

地元私より一回りくらい若い会員のお母さんたちがいます。コロナ禍でなかなかゆっく
りとおしゃべりが出来ませんでした。先日ランチ会に誘っていただきました
会員になった頃は、お子さんたちは小学部だったのにもう20歳を越えていました。月日が
たつのは早いものです。レクレーション事業でバスに乗り完成したばかりのスカイツリー
に見学に行ったことなど楽しい思い出です

年度末なので私は午前と午後にオンライン会議があり、その間の昼休みだったのでバタ
バタしましたがいろいろとお話を聞くことが出来ました。つい先日、特別支援学校の保護者
対象に年金学習会を開催したのですが参加した方から「一度2級と認定されたら、一生変更
出来ないと思っていました」と発言がありました。そんなことはありません。これからも県
内で年金学習会をどんどん開催していきたいと思ったところです。ご希望の地域がありま
したら県育成会事務局にお問い合わせ下さい

他にも障害のある人を診て下さる医療機関のことや障害福祉サービスのことなどを情報
交換出来ました。お母さんたちのお子さんは小さい頃から見ているのでアドバイスもしや
すいです。やはり小さい頃から継続して育成会活動に参加していることが大切だと思いま
す。行政窓口も私たちの相談に親切に対応いただき、担当の相談支援専門員がついている方
がほとんどですが、同じ立場の親たちと話すともた違います。第一楽しいのです。

最後になりますが、障害のある娘さんが他界された先輩お母さんに近所のスーパーで
時々お会いします。「こんにちは、お元気ですか」とお声かけします。先輩方の頑張りのお
かげで今の育成会があります。次の世代にバトンタッチしていくのが私たちのつとめだと思
います